

都城市立明道小学校 令和5年度 学校評価報告書

1 学校経営ビジョン

教育目標「心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成～「きらきら」「ぐんぐん」「ぼかぼか」に満ちた学校づくり～」の達成のために、都城市の中心校であり歴史と伝統のある学校として、職員が「チーム明道」として団結し、「よき伝統の継承」を基調としつつ、「夢、実践、改革」・「求同と求異の達成」スピリットをスローガンとし、「命と心の教育充実・学力向上・特別支援教育充実」を最重要課題と捉え、A T M（明るく、楽しく、みんな仲良く）の心に努め、地域住民と共に「地域から愛される学校づくり」を推進します。

2 学校自己評価及び学校関係者評価

4段階評価

4：期待以上

3：ほぼ期待どおり

2：やや期待を下回る

1：改善を要する

項目	評価内容・評価規準	学校の自己評価（職員、児童、保護者）		学校関係者評価（学校運営協議会委員）	
		評価	分析・考察	評価	本年度の学校評価に対する意見等
学力の向上	1 国語、算数の単元テストにおいて、学級平均点が「担任の期待平均点」を「1点以上、上回る」	4	1 「期待平均点1点以上」は、100%達成できた。下位層児童の学力のアップが課題であり、個別学習のさらなる充実が必要である。	4 (3.9)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 担任の先生の期待を上回った事は子供たちの努力もあるが、先生方が子どものやる気を引き出した結果であると思う。 ◎ 毎年の課題である下位児童の学力アップに先生方が更なる指導をしていると考える。限られた時間内での指導は大変だと思う。 ◎ 学習支援（中央公民館）の活用も以前からすると増えてきたと思う。 ◎ 毎日の先生方の指導がうかがわれる。 ◎ 先生方の日々の努力の成果がうかがえる。 ● 個別学習は不得意とするところがわかるので、充実を望むところである。
	2 子どもが主役の授業「わ・さ・び」を意識した授業を職員の70%以上が意識して、日々の授業改善に臨み、「学習内容がよく分かる」・「先生は分かりやすく教えてくださる」と90%以上の児童が答える。	3	2 主題研究でも子どもが主役の授業の研究を進め、79%の職員が意識して実施することができた。また、児童の95%が「授業がよく分かる」、99%が「先生は分かりやすく教えてくださる」と答えている。	4 (3.9)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 時代の流れでもあるだろうが、子どもを主役にするという取組で、子供たちが良い評価を付けているので、より求められる形につながっていると思う。 ◎ 自分の意見を発表できること、認めてもらうことで自信がついているように感じた。そのような経験は、子どもたちの成長にとっても必要なことだと思う。 ◎ 児童のほとんどが「分かりやすく教えてくださる」と答えているのでよい方向だと思う。 ◎ 先生方は、分かりやすい授業を行っていると思う。
	3 読書活動の推進に努め、各学年が昨年の貸出冊数を超え、一人あたりの貸出冊数を75冊以上とする。	2	3 図書サポーターや図書主任がリードし、各種イベントを行ったが、2学期末現在、一人あたりの図書貸出冊数は61冊と伸びなかった。「進んで読書をする児童」59%、「お子さんはよく読書している」67%とやや少なかった。	3 (2.8)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 図書館サポーターの方がいろいろと工夫されて、イメージUPをされているのには感心させられる。 ○ 自分の頃を考えると、一人あたりの貸出冊数は素晴らしいと思うが、高い目標に向けてがんばっていただきたい。 ○ 読書の習慣は大事である。 ● 図書貸出冊数あと少しである。年度内達成を期待する。 ● 近所の一年生がよく本を借りてくるが、本が重い（表紙）、荷物が多い（月曜日）と大変だと思う。高学年になると中身も少ないが、本を読む時間はいつなんだろうと思うぐらい、最近の児童は忙しい。 ● 児童の読書がもう少し進むような指導がほしい。 ● 読書活動については、課題を明確にして、その解決のための取組を計画的に実施することを期待する。
	4 ICT活用の効率的な研修に努め、研修が「ためになった」という職員の有用感を100%とする。	3	4 校務支援システムやポータルサイト等、ICTの積極的活用が図られており、95%の職員が研修がためになったと答えていた。	4 (3.5)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ICTが有効に活用されているのは、先生方の努力の成果だと思う。また、今の時代に合った学習方法だと思う。 ◎ ICTの積極的な活用がなされ、ためになる研修が行われた結果であろう。 ○ 先生方の努力に敬意を払うと共に、がんばっていただきたい。

	<p>5 児童のクロームブック活用の普及に努め、子どもの「タブレットが学習に役に立っている」意識を95%とする。</p>	3	<p>5 様々な授業で活用が進み、児童のスキルも大きく伸びた。また、96%の児童がタブレットが学習に役立っていると感じている。</p>	<p>4 (3.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 低学年からタブレット学習に取り組み、苦手意識無く楽しんで学習に生かされている。時代の先取りというか時代の流れの変化を感じる。 ◎ タブレットの活用が、児童の学習に役立っていると思う。 ○ 次代を担う子供たちに期待する。 ○ 学習の弱みに、一層役立ててほしいと思う。 ○ ICT活用によって個別の学びの充実を図ることに、さらに励んでいただきたい。 ● タブレットは、読む力には有効だろうが、書く力には「？」が付きそうである。
豊かな心の育成	<p>1 「友と仲良く」95%、「進んであいさつ」85%、「言葉遣い」85%、「進んで仕事」90%、「きまりを守る」90%を達成する。</p>	3	<p>1 児童の自己評価では、「友と仲良く」98%、「進んであいさつ」88%、「言葉遣い」94%、「進んで仕事」90%、「きまりを守る」97%と、全ての項目で目標値を上回った。</p>	<p>4 (3.9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 全項目で目標値を上回るとはすばらしい。 ◎ 低学年に対する高学年の態度を見ていると、学年の差はあまり感じられないほど、仲良く会話は行動をとりにしている。 ◎ 「きまりを守る」は、よくできていると思う。 ● 「進んであいさつ」に関しては、声をかけても返事のあいさつがないこともある。朝はエンジンがかかるのに時間がかかるのか。 ● 「友と仲良く」は評価が進んでいるが、「進んであいさつ」がもう少しである。 ● 進んであいさつの向上に期待する。
	<p>2 「1分前着座、チャイム黙想、廊下歩行、トイレスリッパ」の評価の85%を達成する。</p>	4	<p>2 児童の自己評価では、「1分前着座」90%、「チャイム黙想」95%、「廊下歩行」94%、「トイレスリッパ」90%で、昨年度よりも大きく伸びていた。</p>	<p>4 (4.0)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 目標を意識して取り組んでいると思う。社会に出て求められることなので、しっかり身に付けてほしい。 ◎ 伸びがよくなった。 ◎ 廊下など隅々まで清掃が行き届いていて、「トイレのスリッパ」は両足揃えていて、いつでも履ける状態並べられていて気持ちがよい。 ◎ チャイム黙想やトイレのスリッパはよくできていると思う。 ● トイレが洋式に変更になった。覗いた見たら便器が汚れていた。汚したら本人が清掃する様に指導が必要である。
	<p>3 児童「学校が楽しい」を、90%以上とする。トラブルには、担当・管理職が「クイック・レスポンス(今日中の対応・解決・努力)」で対応し、職員満足度90%を達成する。</p>	4	<p>3 学校が楽しい児童は100%、トラブルの対応への職員の満足度も100%であった。課題発生時には関係者が連携しての素早い対応、解決に向けての取組が良かった結果だと思われる。</p>	<p>4 (4.0)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 学校が楽しいというのが何よりである。そこから子どもの能力が引き出されると個人的に思っている。 ◎ 少々のトラブルは、早めに解決されているのだと思う。 ◎ 「学校楽しい!」「先生がスキ!」という子どもたちの生の声を聞くことが多い。「クイック・レスポンス」で子どもたちのトラブルに対応されていてすばらしいと感じた。 ◎ 学校が楽しいと感じているのは、とても良いことだと思う。学校で学べることの大切さもさることながら、魅力もたくさん溢れているのだろう。 ◎ 学校が楽しい児童100%はすごいと思う。 ◎ トラブルの対応への職員満足度100%はすごいと思う。 ◎ 学校が楽しいが100%であることが何よりもすばらしいし、本校の教育の成果だと思う。 ◎ 不登校児童生徒が増える中で学校が楽しいと子どもが感じるようにする学校経営が不登校予防になると思う。
	<p>4 安全計画・アクションプランによる避難訓練・安全指導を計画的に100%実施し、毎日の登下校指導における見守り・呼びかけを繰り返す行き、「横断歩道渡り方・自転車乗り方」安全意識の95%を達成する。</p>	3	<p>4 避難訓練・安全指導は100%実施でき、児童の「自分の命は自分で守る」という意識は96%、ヘルメット着用率65%と、目標を達成できた。登下校では、見守り隊の方にもお世話になり、児童の安全が確保されている。</p>	<p>4 (3.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 地域で子供たちを見守ることは、都会化していく中でも大切だと思う。 ◎ 新年を迎え、抜き打ちの避難訓練を行っていた。こどもたちにとってもよい訓練になったと思う。実際、突然起こることなので、意識付けにはよかったのではないかな。 ○ 能登半島地震で大変な思いをしていることを自分たちのこととして受け止めていることだろう。このような時に、避難訓練の大切さを今一度考えてほしいと思う。

				<ul style="list-style-type: none"> ● 下校時の見守りが手薄になっていることが少し心配である。下校時は時間を合わせるのがなかなか難しい。 ● 自分の命は自分で守るは100%近いが、ヘルメット着用がちょっと少ないのが気になる。
健康・安全、体力の向上	1 体力テストの結果を踏まえ、A判定児童を5%以上とする。また、D・E判定児童の割合を45%以下に減らす。	2	1 水泳や持久走等コロナ前の段階並みに行い、昼休みの外遊びも奨励したが、体力テストは5月実施ということもあり、結果としては出なかった。来年度以降は期待ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 陸上競技上の整備もかなり進んで、テニスコートも増え、テニスプレイヤーの活躍も期待できそうである。 ● コロナの影響もあったと思うが、今後に期待したい。 ● 以前に比べると、運動量が減ってきていることに慣れてきている感がある。遊びも室内が多く、近所ではほとんど子どもを見るのが少なくなった。 ● 子どもの体力、特に不器用動きのぎこちなさのある子どもの増加がとても気になる。このような子どもは、自己肯定感も低い傾向にあります。ぜひ対策を検討してほしい。
	2 「早寝・早起き・朝ごはん」の定着を80%以上、「手洗い・手指消毒」の定着90%を達成する。	4	2 「早寝・早起き・朝ごはん」92%、「手洗い・手指消毒」97%の児童が目標を達成できた。今後も家庭と協力して推進していく。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 朝食をとって登校する児童は、朝から元気である。多分、睡眠も充分にとっているのだろう。家庭の規則正しい生活のおかげである。 ○ 朝を食べない人が多くなったと言われる時代だが、子どもの頃から朝ご飯はしっかり食べて、大きく成長してほしい。 ● さらなる家庭との連携が不可欠である。 ● コロナの関係でなかなか難しいところもあったのではないかと。
	3 食に関する意識・知識向上のために、年2回の「弁当の日」を全家庭で100%実施させ、保護者の「家庭での団らんや会話を大切に」90%を達成する。	3	3 年2回の「弁当の日」は、100%実施することができた。家族の団らんについては、児童93%、保護者99%が目標を達成できた。「弁当の日」に関する映画鑑賞等も取り入れ、地域の方への浸透も進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 先生方と家庭と協力して目標が達成していると思う。 ◎ 家庭の事情は様々だろうが、「弁当の日」100%は素晴らしいと思う。 ○ 学校では学べない体験型学習「弁当の日」は、児童の成長が生まれる。自己肯定感はこの上映会を通して影響は大きかったと思う。親と子どもと一緒に見ることで、「弁当を作る」という考え方が変わるのを期待したい。
	4 健康意識、食育向上のために、保健・食育コーナー設営充実に努め、児童の「設営が役に立った」90%を達成する。	3	4 児童84%、保護者97%が「保健・食育コーナーは役に立っている」と答えている。どちらも月ごとに掲示が工夫され楽しく充実したものになっている。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 年2回の弁当の日が100%達成できていることはよいことだと思う。 ◎ 80%以上の結果は、素晴らしいと思う。 ◎ 月ごとの掲示、とてもよい。 ◎ YouTubeや掲示板がすばらしい。 ◎ 保健・食育コーナーは、保護者にも役立つという方が多かったのがよかった。 ○ 食育の大切さを改めて感じた。農業・畜産の盛んな宮崎で生まれ育って、食の大切さを知らずに成長することは、大きな損失である。今だからこそ、食について学ぶことに感謝しながら、給食をおいしくいただいでほしいと思う。
地域に開かれた学校づくり	1 「sigfyメール」を250本以上発信し、きめ細かに情報発信に努める。	4	1 全保護者に「Sigfy」に登録してもらい、必要な情報をいち早く発信する体制ができた。年間400件程、発信できた。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 素晴らしいの一言である。「Sigfy」「ホームページ」のこれだけの発信、アクセスはすごいと思う。 ◎ いろいろな情報が溢れている中で、学校から発信される情報は必要不可欠である。これからも必要な情報を発信続けてほしいと思う。学校と保護者の信頼関係も生まれてくるのではないかと。
	2 HPの改善・情報発信に努め、アクセス数を10万以上とする。	4	2 ホームページは、毎日数名のアクセスがあり、好評である。本年度のアクセス数は、12月末現在で、「212,606件」である。保護者から楽しみという声も多く聞かれる。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 学校の情報発信を保護者は楽しみにしていると思う。 ◎ 子供たちが自分の地域を好きになり、自分の住んでいるところに誇りを持てるようになることを願う。

地域に開かれた学校づくり	<p>3 ボランティア（「見守りたい、読み聞かせ、クラブ指導（お茶）、南九州大学生、主任児童委員、民生・児童委員、他外部講師を含め、G Tの活躍の場を多数・複数設定し、「社会に開かれた教育課程」を構築する。延べG T活用数を1000名以上とする。</p>	4	<p>3 ボランティアは、12月末現在で延べ2905名の活用ができ、目標を大きく上回ることができた。毎日の見守り隊の他、積極的に外部人材を活用した出前授業等に取り組んできた結果であり、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて進めることができた。</p>	4 (4.0)	<p>◎ すばらしい！ ◎ 朝の登校指導で気付いたことであるが、集合時刻には、ほぼ全員が集まれる。遅れるときや欠席のときには、班長に連絡が来ているので、時間通り登校できている。入学当初からすると、1年生が体力的に向上し、途中、疲れたと言わずに元気に学校まで行けるようになった。 ◎ ボランティアの活動がすごいと思う。 ◎ 地域の素材や人材を活用し連携し、協力を深めている。 ○ 出前授業は、これからも授業の中に組み入れてほしい。 ○ 地域とのふれあい、大事である。</p>
	<p>4 管理職が、学校運営協議会、自治公民館長、民生・児童委員、見守り隊等のボランティア、まち協、祭り等の地域公民館活動等との連携回数を昨年度より密にし、連携を深める。可能な限り、懇親会等の企画・参加に努め、連携深化を図る。</p>	4	<p>4 4年ぶりを合言葉に、今年度から復活した行事等が多かったが、校長、教頭が積極的に参加することができた。地域の方との出会いの会、都島地区総会、島津灯籠祭り、姫城川クリーン作戦、旭丘神社夏祭り、姫城地区ふれあい文化祭、島津発祥祭り、姫城歴史あるき事業等に参加した。学校運営協議会の充実を図り、地域学校協働推進員も指定でき、都城西駅前プロジェクションマッピング点灯も開催できた。</p>	4 (4.0)	<p>◎ 校長先生が率先して行動することで、学校全体がとてもまとまっている。また、各先生方の心配りもすばらしいと感心している。 ◎ 令和5年度は行事が波のように押し寄せて、校長先生や先生方は大変な苦労があったと思うが、今だから経験できることはさせてあげたいという思いからだろう。児童もその経験を活かしながら成長していくと思う。楽しいにしている。 ◎ 姫城地区のいろいろな行事やお祭りに、学校として参加できた事は、とてもよかったと思う。 ○ 大きな成果がうかがえる。社会に開くには、先生方だけでは大きな負担となる。その負担を軽減するためのシステムづくりが早く進むとよい。</p>